

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
52121	都市公園整備推進事業	都市整備部	公園緑地課	シートA	2
52121	公園緑地事務事業	都市整備部	公園緑地課	シートA	3
52121	都市緑化推進事業	都市整備部	公園緑地課	シートB	4
52122	城山公園整備事業	都市整備部	公園緑地課	シートA	6
52122	城山公園史跡調査事業	都市整備部	公園緑地課	シートA	7
52122	城山公園管理事業	都市整備部	公園緑地課	シートA	8
52122	松山総合公園管理事業	都市整備部	公園緑地課	シートA	9
52123	公園整備安全安心対策事業	都市整備部	公園緑地課	シートB	10
52123	松山市公園管理協力連絡協議会運営補助金事業	都市整備部	公園緑地課	シートA	12
52123	公園緑地一般管理事業	都市整備部	公園緑地課	シートB	13
52123	空港周辺公園整備事業	都市整備部	公園緑地課	シートA	15

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	都市公園維持整備担当	連絡先	948-6497			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	兵藤 一馬	リーダー名	主幹	村上 博	担当者名	主任	柳原 信也	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	都市公園維持整備担当	連絡先	948-6497			
	部等長名	横本 勝己	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	主幹	村上 博	担当者名	主査	宮内 太一	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	52121	都市公園整備推進事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	特色ある都市空間を創出する			重点プロジェクト	-	
施策	良好な都市空間の形成			主な取り組み	-	
主な取り組み	公園緑地の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	身近な公園や緑のあるまちづくり			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	都市公園法、松山市都市公園条例、松山市緑の基本計画					
事業の目的(どのような状態にするか)	都市計画法に規定する開発許可に伴い、帰属することとなる公園、緑地等のほか、借地公園などの受入れと整備の充実を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	公園の整備に伴い、事業を開始。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	開発公園や借地公園 ・開発許可に伴い、帰属される都市緑地の園名板及び管理施設の整備を行う。 ・市民1人当たりの公園面積の増加を目的に借地公園の受入を行うための整備を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成 14	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市公園整備費	R2予算措置時期		
									当初		
						R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)						450		2,000	1,500		
決算額(B)(単位:千円)						357		1,490			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0	0		
	県支出金			0		0		0	0		
	市債			0		0		0	0		
	その他			0		0		0	0		
一般財源			357			1,490		1,490	1,500		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							工事請負費:1,490		工事請負費:1,500		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							流用による減あり				
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	93	510			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	開発により整備された公園を協定書に基づき市の管理にするため、寄附公園の園名板や注意看板等の整備を行う。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	良好な都市空間の確保に寄与している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	平成12年度以降の開発公園は、市への寄附が開発許可の条件となっているが、協定書に基づき公園管理協力を組織立てることで、市が管理できるようになっている。しかし、公園管理協力が組織できない場合は、公園管理については、開発業者もしくは、近隣住民が行わなくてはならない状況であり、十分に管理できていない状況である。					
R3年度の目標	既存公園(開発公園)の良好な環境整備	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	公園管理協力が設立された開発公園について、園名板等の設備を整備する予定。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	市で受入できる条件が整うよう地元と協議していく。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6519				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	兵藤 一馬	リーダー名	副主幹	大本 正敬	担当者名	主任	立町 緑	主事	黒河 千晶
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6519				
	部等長名	横本 勝己	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	大本 正敬	担当者名	主任	立町 緑	主事	黒河 千晶

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	52121	公園緑地事務事業	事業性質	2:その他	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	特色ある都市空間を創出する			重点プロジェクト	-	
施策	良好な都市空間の形成			主な取り組み	-	
主な取り組み	公園緑地の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	身近な公園や緑のあるまちづくり			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	市民が安心して憩える公園及び緑地の維持管理に努めるとともに、快適な環境づくりを図ること。					
背景(どのような経緯で開始したか)	公園の維持管理を適正に継続する必要があるため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	公園あるいは公園の利用者 ・公園の占用、使用、施設設置及び施設管理の許可 ・水利組合に対する謝礼(城濠水導入) ・日本全国緑地協会、全国都市公園整備促進協議会及び日本さくらの会への負担金拠出					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	公園緑地費	目	公園緑地総務費	R2予算措置時期		当初	
									R2年度	R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						7,118		26,237			1,001	
決算額(B)(単位:千円)						6,889		962				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳						国支出金		0			0	
						県支出金		0		0		0
						市債		0		0		0
						その他		992		838		791
			一般財源			5,897		124			210	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							報償:413 負担金:187			報償:412		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							堀之内分室の移転先を引き続き検討するため,工事等の支出がなかった。					
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				229		25,275				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	水利組合に対する謝礼 ・日本全国緑地協会、全国都市公園整備促進協議会及び日本さくらの会への負担金拠出										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できたため。							
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	適正な公園の維持管理を実施している。								
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない					
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし										
R3年度の目標	市民が安心して憩える公園及び緑地の維持管理に努めるとともに、快適な環境づくりを図る。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	水利組合に対する謝礼 ・日本全国緑地協会、全国都市公園整備促進協議会及び日本さくらの会への負担金拠出 ・堀之内分室の移転整備場所の検討				特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策			特になし

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	公園計画・城山整備・緑化担当	連絡先	948-6854				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	兵藤 一馬	リーダー名	副主幹	金浦 正臣	担当者名	技師	森 潔市	技師	高尾 祐平
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	公園計画・城山整備・緑化担当	連絡先	948-6546				
	部等長名	横本 勝己	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	西村 直人	担当者名	主査	森岡 幸男	技師	高尾 祐平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	52121	都市緑化推進事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	特色ある都市空間を創出する			重点プロジェクト	-	
施策	良好な都市空間の形成			主な取り組み	-	
主な取り組み	公園緑地の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	身近な公園や緑のあるまちづくり			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令, 条例, 個別計画等	松山市自然環境保全条例, 松山市緑の基本計画					

事業の目的(どのような状態にするか)	市民の暮らしにとっても大切な緑を、『まもり』『つくり』『そだてる』ことを基本にまちの緑化を進め、花と緑あふれる潤いのあるまちづくりをめざす。					
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和62年に、財団法人松山市緑化基金(既に解散)により、基金の造成が開始されたことに伴い、事業を開始した。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	市内で花いっぱい運動や緑化推進に取り組む人を対象として、まちの緑化を進めるため花と緑に触れあう場づくりを支援している。 1. 生け垣・庭木などの奨励事業として補助金を支出する。 2. 地域の花壇やプランターでの花いっぱい運動を行い、種子や花の土などの資材を提供する。 3. 花づくりボランティアを育成し、会員に資材を提供する。 4. 緑化市民まつり・園芸教室・松山植木まつりの開催時に、会場設営など費用負担する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	昭和 62 ~ 令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	公園緑地費		都市緑化費	R2 予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度			
現計予算額(A) (単位:千円)				17,573	16,006			15,037
決算額(B) (単位:千円)				12,467	12,742			
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金	0	0		0
				県支出金	0	0		0
				市債	0	0		0
				その他	12,467	12,742		15,037
			一般財源	0	0		0	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算					負担金補助及び交付金:4,702 委託:2, 232		負担金補助及び交付金:5,172	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								
予算執行残額 (単位:千円)		(A)-(B)		5,106	3,264			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民有地における緑の保全と緑化推進に関する奨励金の交付</li> <li>・花づくりボランティアの育成</li> <li>・花いっぱい運動</li> <li>・緑の普及啓発</li> </ul>					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	民有地における緑化推進活動(生垣・庭木)に対し奨励金を交付しているが、生垣は減少傾向にある。花いっぱい運動(プランター花壇事業・コミュニティ花壇事業)については、例年と同様に実施し、緑化推進に貢献している。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、市民のまちの緑化に対する意識が高まっているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	民有地における緑化推進活動(生垣・庭木)に対し奨励金を交付しているが、生垣の申請件数は年々減少傾向にある。					
R3年度の目標	緑化に関する取組をより多くの市民に啓発して、奨励金制度の活用等を促す。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民有地における緑の保全と緑化推進に関する奨励金の交付</li> <li>・花づくりボランティアの育成</li> <li>・花いっぱい運動</li> <li>・緑の普及啓発</li> <li>・事業全体の見直し</li> </ul>	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のまちづくり奨励金制度のパンフレットを活用して、より広く市民に制度をPRする。</li> <li>・植木まつり開催時に緑化に対するイメージアップを行うとともに、少しでも市民の皆さまに、本奨励金制度を認識いただけるよう啓発する。</li> </ul>	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	緑のまちづくり奨励金制度により整備された生け垣の延長(累計)	m	目標値	26,500	27,000	27,500	28,000	28,500	目標値	28,500	
			実績値	26,441	26,613	26,690			達成年度	R4年度	
	%	達成度	100	98	97						
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標							第6次総合計画の目標値		
	本指標の設定理由	民有地の緑化充実度を測る指標として相応しいため。							最終目標値の設定の考え方		
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由								最終目標値の設定の考え方		
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
	%	達成度									
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由								最終目標値の設定の考え方			
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
	%	達成度									
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由								最終目標値の設定の考え方			
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
	%	達成度									
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由								最終目標値の設定の考え方			
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	管理に手間がかかる緑化(生垣)よりも、初期投資は高いが維持管理費用が少ないフェンスやブロック塀などへ志向が強く、減少傾向にある。									
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	公園計画・城山整備・緑化担当	連絡先	948-6854				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	兵藤 一馬	リーダー名	副主幹	金浦 正臣	担当者名	副主幹	西村 直人	技師	高尾 祐平
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	公園計画・城山整備・緑化担当	連絡先	948-6546				
	部等長名	横本 勝己	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	西村 直人	担当者名	副主幹	永野 哲	主査	森岡 幸男

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	52122	城山公園整備事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	特色ある都市空間を創出する			重点プロジェクト	-	
施策	良好な都市空間の形成			主な取り組み	-	
主な取り組み	公園緑地の整備		市長公約			
取り組みの柱	歴史文化や自然を生かした公園の整備					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	文化財保護法、都市公園法、都市計画法、松山市都市公園条例					
事業の目的(どのような状態にするか)	城山公園を整備することにより、史跡松山城跡としての価値を向上させるとともに、新たな魅力を創出し、市民に快適な憩いの場を提供する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	平成11年度に策定された城山公園(堀之内地区)整備計画に基づき、史跡松山城跡の整備に取り組んでいる。城山公園(堀之内地区)の第1期整備を平成21年度に完了し、松山城跡本丸跡の建造物を対象とした防災設備の更新を平成29年度に完了した。また、今後、松山城跡を保存・整備・活用するための指針となる保存活用計画を令和元年度に策定した。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	城山公園(史跡松山城跡)を対象とする。 ・文化庁や愛媛県教育委員会、整備検討委員会の指導を受けながら、城山公園(堀之内地区)の第2期整備工事を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 12	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費		目	都市公園整備費	R2予算措置時期	当初	繰越	
						R元年度	R2年度						R3年度
現計予算額(A)(単位:千円)						49,825			104,574			84,849	
決算額(B)(単位:千円)						17,315			28,248				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳						国支出金			1,917			2,192	38,295
						県支出金			0		0		21,641
						市債			0		0		10,600
						その他			13,150		0		0
			一般財源			2,248			26,056			14,313	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								委託料:5,036 工事請負費:22,148				委託料:56,585	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								補助金の内示額が大幅に減少したのでその分執行を見送った。 決算額のうち26,885千円は前年度繰越分 流用による減あり				予算額のうち27,629千円は前年度繰越分	
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			32,510			76,326				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	城山公園(堀之内地区)第2期整備基本計画の策定											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		城山公園(堀之内地区)第2期整備事業を行うための基本計画の素案ができたため。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		概ね計画に沿って事業が進捗しているため。							
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・城山公園(堀之内地区)の第2期整備範囲内の県有地の取扱い ・整備する周囲の住環境への影響											
R3年度の目標	城山公園(堀之内地区)の第2期整備に向け、実施設計等の作業を早急に進める。また、城山公園の樹木管理計画の策定を進める。			R3年度の主な取組内容(予定含む)		・城山公園(堀之内地区)第2期整備事業の実設計等の作業 ・城山公園の樹木管理計画の策定			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		県有地の取扱いについては粘り強く交渉する。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	公園計画・城山整備・緑化担当	連絡先	948-6854				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	兵藤 一馬	リーダー名	副主幹	金浦 正臣	担当者名	副主幹	西村 直人	技師	免取 伸弥
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	公園計画・城山整備・緑化担当	連絡先	948-6854				
	部等長名	横本 勝己	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	西村 直人	担当者名	副主幹	渡瀬 彰		

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	52122	城山公園史跡調査事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	特色ある都市空間を創出する			重点プロジェクト	-	
施策	良好な都市空間の形成			主な取り組み	-	
主な取り組み	公園緑地の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	歴史文化や自然を生かした公園の整備			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	文化財保護法					
事業の目的(どのような状態にするか)	発掘調査等の成果により史跡松山城跡の文化的価値を高めること。					
背景(どのような経緯で開始したか)	平成11年度に策定された城山公園(堀之内地区)整備計画等に基づき、平成13年度から場内の史跡松山城跡の発掘調査等に取り組んでいる。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	城山公園(史跡松山城跡)を対象とする。 ・効率的な発掘調査及び報告書作成を行うため、公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団に業務委託する。 ・有識者の指導を受けながら、整備に有意義な情報を得られるような発掘調査を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成 18	~	令和 4	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市公園整備費	R2予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						7,970		7,813			7,769
決算額(B)(単位:千円)						5,939		7,142			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳						国支出金		2,895		3,581	3,833
						県支出金		0		0	0
						市債		0		0	0
						その他		0		0	0
			一般財源		3,044		3,561		3,936		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							委託料:7,136		委託料:6,974		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							流用による増あり		予算額のうち792千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				2,031		671			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山城三之丸跡の発掘調査 過去の発掘調査成果の総括的報告書の作成					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	城山公園(堀之内地区)第2期整備の着手に向け、当初目的としたおりの成果が得られた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	調査成果の公表による松山城跡の歴史や今後の整備の在り方について関心を高めている。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	発掘調査を実施し、城山公園(堀之内地区)第2期整備に向けた基礎資料の取得 過去の発掘調査成果の総括報告書の完成	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・発掘調査の実施 ・過去の発掘調査成果の総括的報告書の作成	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	公園計画・城山整備・緑化担当	連絡先	948-6854				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	兵藤 一馬	リーダー名	副主幹	金浦 正臣	担当者名	技師	免取 伸弥	技師	高尾 祐平
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	公園計画・城山整備・緑化担当	連絡先	948-6546				
	部等長名	横本 勝己	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	西村 直人	担当者名	副主幹	永野 哲	主任	柳原 信也

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	52122	城山公園管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	特色ある都市空間を創出する			重点プロジェクト	-		
施策	良好な都市空間の形成			主な取り組み	-		
主な取り組み	公園緑地の整備		市長公約	-			
取り組みの柱	歴史文化や自然を生かした公園の整備			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等	文化財保護法, 都市公園法, 松山市都市公園条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	城山公園の維持管理を実施することにより、快適な憩いの場を創出する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成22年3月に城山公園(堀之内地区)の第1期整備が完了したこと等に伴い開始した。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	城山公園(史跡松山城跡)のうち、堀之内地区を対象とする。 ・堀之内地区の主にやすらぎ広場(3.25ha)、ふれあい広場(3.32ha)、さくら広場(0.84ha)、管理広場(1.36ha)を管理する。 ・伊予鉄道株式会社を指定管理者として協定を結び、維持管理(芝生管理業務、樹木管理業務、警備業務等)の実施に対し指定管理料を支出。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	22	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	公園緑地費	目	公園管理費	R2予算措置時期	
									当初	
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				74,152		76,445		68,205		
決算額(B)(単位:千円)				74,081		75,838		68,205		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
	一般財源			74,081		75,838		68,205		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				委託料:72,733 工事請負費:696		委託料:65,400 工事請負費:2,000				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				流用による増あり						
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			71		607				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	城山公園(堀之内地区)の維持管理					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	概ね、目標通りの成果が得られたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	城山公園の適切な維持管理を行うことにより、市民に快適な憩いの場を提供できているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	倒木管理など不確定な要素があり、指定管理との業務区分が不明なところがある。					
R3年度の目標	城山公園の維持管理を実施することにより、快適な憩いの場を創出する。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	城山公園(堀之内地区)の維持管理	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	倒木管理の対象となる松山樹種の保存管理を計画する。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	総合公園管理担当	連絡先	923-9439
	部等長名	白石 浩人	課等長名	兵藤 一馬	リーダー名	副主幹	浅田 弘	担当者名
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	総合公園管理担当	連絡先	923-9439
	部等長名	横本 勝己	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	渡部 久司	担当者名

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	52122	松山総合公園管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	特色ある都市空間を創出する			重点プロジェクト	-		
施策	良好な都市空間の形成			主な取り組み	-		
主な取り組み	公園緑地の整備		市長公約	-			
取り組みの柱	歴史文化や自然を生かした公園の整備			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	都市公園法、松山市都市公園条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	松山総合公園の維持管理を実施することにより、市民に快適な憩いの場を創出する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	松山総合公園の開園に伴い、事業を開始した。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	松山総合公園 ・職員による花等の植栽や簡易な公園内施設の維持管理を実施。 ・剪定等樹木管理業務を造園業者等に委託料を支出。 ・施設保全管理業務(警備・清掃・電気設備保安管理など)を専門業者に委託料を支出。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成	元	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	公園緑地費	目	公園管理費	R2予算措置時期		
									当初		
				R元年度		R2年度		R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)						59,707	61,770		60,582		
決算額(B)(単位:千円)						58,213	56,251				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金					0	0		0		
	県支出金					0	0		0		
	市債					0	0		0		
	その他					633	781		607		
一般財源						57,580	55,470		59,975		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							委託料:43,978 工事請負費:2,978		委託料:45,485 工事請負費:5,265		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							流用による減あり				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,494	5,519				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	公園内施設の維持管理 花木の植栽 樹木の剪定					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		松山総合公園の適切な維持管理を行うことにより、市民に快適な憩いの場を提供できている。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	施設の老朽化が進み、維持管理経費の増加が見込まれる。					
R3年度の目標	松山総合公園の維持管理を実施することにより、市民に快適な憩いの場を創出する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	公園内施設の維持管理 花木の植栽 樹木の剪定	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	計画的に施設改修を進めていく。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	都市公園維持整備担当	連絡先	948-6497				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	兵藤 一馬	リーダー名	主幹	村上 博	担当者名	主査	宮内 太一	技師	宇都宮 裕樹
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	都市公園維持整備担当	連絡先	948-6497				
	部等長名	横本 勝己	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	主幹	村上 博	担当者名	技師	宇都宮 裕樹	技師	免取 伸弥

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	52123	公園整備安全安心対策事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	特色ある都市空間を創出する			重点プロジェクト	-		
施策	良好な都市空間の形成			主な取り組み	-		
主な取り組み	公園緑地の整備		市長公約	-			
取り組みの柱	都市公園の適切な維持管理			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	都市公園法、松山市都市公園条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	公園施設長寿命化計画に基づき、耐用年数を超えるもの、危険度判定調査により改善が必要とされた遊具を対象として、総合的に整備を行う。併せて、バリアフリー化や防災機能の向上を行い、より安全な公園維持管理を目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成25年度までは、都市公園における総合的な安全安心対策を計画し、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全に安心して利用できる都市公園の整備をしてきたが、多くの都市公園の老朽化が進む中で、財政上の理由などで、安全で快適な利用が確保できなくなっていることが問題となってきたため、都市公園の計画的な維持管理の取り組みや、ライフサイクルコスト削減のための長寿命化計画を策定し、遊具を中心に安全安心な公園の環境づくりを進めている。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市が管理する都市公園 ・長寿命化計画に基づき、開設されてから30年以上経過している公園で、健全度調査等で改善が必要とされたり、耐用年数が超えている遊具を中心に改修を行っている。(改修工事箇所・施工業者) ①内新田公園・愛媛森連産産業(株) ②和気公園・(株)新開発 ③保免公園・アトム緑化開発(株) ④久保公園・高須賀緑地建設(株) ⑤平田公園・(株)愛媛庭園						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	公園は特定の利益に繋がるものではなく、誰でも自由利用できることや安全性の確保のため。			
始期・終期(年度)	平成	22	～	令和	5	終期の種別	1:事業の終了時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市公園整備費	R2 予算措置時期	
									当初	3月補正
				R元年度			R2年度		R3年度	
現計予算額(A) (単位:千円)				39,886			48,200		36,400	
決算額(B) (単位:千円)				39,574			38,431			
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			19,000			19,000		17,800	
	県支出金			0			0		0	
	市債			17,100			17,100		16,400	
	その他			0			0		0	
一般財源			3,474			2,331		2,200		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							工事請負費:38,431		工事請負費:36,400	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							3月補正で9,800千円追加 流用による増あり		予算額のうち9,800千円は前年度繰越分	
予算執行残額 (単位:千円)	(A)-(B)			312			9,769			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	公園開設から概ね30年以上経過した都市公園を対象に、遊戯施設の更新を実施しています。令和2年度は、5公園(内新田公園・和気公園・保免公園・久保公園・平田公園)を更新した。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	目標通り実施できた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	良好な都市空間の確保に寄与している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	既存公園の良好な環境整備		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	森松本村公園・新開発公園・すみれ野南公園・西野公園・北窪田公園・太衛門公園・河野公園の遊具等の改修を行う。		特になし

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	公園施設長寿命化計画に基づく整備済公園数延長(累計)	箇所	目標値	68	73	78	80	-	目標値	80	
			実績値	68	74	79			達成年度	R4年度	
		%	達成度	100	101	101					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	第6次総合計画の目標値			
	本指標の設定理由	公園施設長寿命化計画に基づく公園の再整備の進捗を測る指標として相応しいため。									
		目標値	実績値							目標値	
			%	達成度						達成年度	
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値							目標値	
			%	達成度						達成年度	
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度						達成年度	
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値							目標値	
			%	達成度						達成年度	
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値							目標値	
			%	達成度						達成年度	
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	令和3年度に目標値達成の見込み。									
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6519			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	兵藤 一馬	リーダー名	副主幹	大本 正敬	担当者名	主任	立町 緑	
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6519			
	部等長名	横本 勝己	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	大本 正敬	担当者名	主任	立町 緑	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	52123	松山市公園管理協力連絡協議会運営補助金事業				事業性質	2:その他	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	特色ある都市空間を創出する					重点プロジェクト	-		
施策	良好な都市空間の形成					主な取り組み	-		
主な取り組み	公園緑地の整備				市長公約				
取り組みの柱	都市公園の適切な維持管理								
総合戦略	基本目標	-							
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	市民が安心して憩える公園緑地の維持管理に努め、快適な環境づくりを行う。								
背景(どのような経緯で開始したか)	公園管理協力会間及び関係機関との連絡を図り、公園美化及び保全に協力することを目的とした「松山市公園管理協力連絡協議会」の発足に伴い開始。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	松山市公園管理協力連絡協議会 ・市内の公園管理協力会を取りまとめる「松山市公園管理協力連絡協議会」に補助金の交付し、研修を実施する等、各公園の健全な発展を図るために活動していただく。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	昭和	44	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	公園緑地費	目	公園緑地総務費	R2予算措置時期	当初
									R2年度	R3年度
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				700		700		700		
決算額(B)(単位:千円)				700		0		-		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
一般財源				700		0		700		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						負担金補助及び交付金:0		負担金補助及び交付金:700		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						新型コロナウイルス感染拡大に伴い総会・研修会等の中止のため、補助金の戻入を行った。				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		0		700		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市内の公園管理協力会を取りまとめる「松山市公園管理協力連絡協議会」に補助金を交付し、研修を実施する等、各公園の健全な発展を図るために活動していただく。								
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		新型コロナウイルス感染拡大に伴い、総会や研修会等を予定どおり実施できなかったため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		各公園の適正な維持管理に寄与している。				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染拡大の状況が継続しているため、総会や研修会の開催可否を判断することが課題。								
R3年度の目標	市内の各公園管理協力会との連絡を密にし、美化活動の充実、及び健全な発達を図る。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		市内の公園管理協力会を取りまとめる「松山市公園管理協力連絡協議会」に補助金の交付し、研修を実施する等、各公園を健全に発展するために活動していただく。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、できる限り活動を実施する。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	都市公園維持整備担当	連絡先	948-6497				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	兵藤 一馬	リーダー名	主幹	村上 博	担当者名	主査	宮内 太一	技師	宇都宮 裕樹
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	都市公園維持整備担当	連絡先	948-6497				
	部等長名	横本 勝己	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	主幹	村上 博	担当者名	主査	宮内 太一	技師	宇都宮 裕樹

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	52123	公園緑地一般管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	特色ある都市空間を創出する			重点プロジェクト	-	
施策	良好な都市空間の形成			主な取り組み	-	
主な取り組み	公園緑地の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	都市公園の適切な維持管理			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等		都市公園法, 松山市都市公園条例, 松山市緑の基本計画				
事業の目的(どのような状態にするか)	既設公園の維持管理を実施することにより,市民に快適な憩いの場を創出する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	公園の整備に伴い,事業を開始した。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	市内の都市公園338カ所 ・職員による公園遊具点検等公園の維持管理 ・公園管理協力会(340団体)による公園の維持管理(委託先:松山市公園管理協力連絡協議会) ・委託業者による公園内樹木管理等(河野別府公園指定管理者:ふるさと北条ファンづくり応援団,その他管理業務等委託先:松山市シルバー人材センター外45業者)					
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	都市公園を占有する場合 100㎡ 日 510円 都市公園において行為をする場合 100㎡ 日 510円		
始期・終期(年度)	～ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	公園緑地費	目	公園管理費	R2 予算措置時期		
									当初	6月補正	
				R元年度		R2年度		R3年度			
現計予算額(A) (単位:千円)						284,852		271,269	256,080		
決算額(B) (単位:千円)						281,356		259,040			
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金					0		7,965	0		
	県支出金					2,006		1,231	2,400		
	市債					0		0	0		
	その他					2,187		2,594	2,455		
一般財源					277,163		247,250	251,225			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							委託料:134,579 工事請負費:76,194	委託料:135,670 工事請負費:72,540			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							6月補正で11,452千円追加 流用による増あり				
予算執行残額 (単位:千円)				(A)-(B)		3,496		12,229			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	都市公園の維持管理					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナ感染拡大防止対策を徹底しながら,予定どおりに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市民に快適な憩いの場を提供している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	管理公園数の増加により,今後,維持管理経費の増加が見込まれる。					
R3年度の目標	既設公園の維持管理を実施することにより,市民に快適な憩いの場を創出する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	都市公園の維持管理	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	引続き複数の公園で修繕工事を一括で発注する等,経費節減に努める。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	ボール遊びのできる公園整備済箇所数(累計)	箇所	目標値	13	14	15	16	17	目標値	17	
			実績値	12	15	16			達成年度	R4年度	
			% 達成度	92	93	94					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	年間1箇所の整備を目標としているため。				
	本指標の設定理由	ボール遊びのできる公園の整備の進捗を測る指標として相応しいため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	平成18年度からの年間1箇所ずつの「ボール遊びのできる公園」への改修ができています。								
		成果指標									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	都市公園維持整備担当	連絡先	948-6497				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	兵藤 一馬	リーダー名	主幹	村上 博	担当者名	主任	柳原 信也		
令和2年度	部局等名	都市整備部	課等名	公園緑地課	担当グループ名	都市公園維持整備担当	連絡先	948-6497				
	部等長名	横本 勝己	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	主幹	村上 博	担当者名	主査	宮内 太一	技師	宇都宮 裕樹

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(実施コード)	52123	空港周辺公園整備事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	特色ある都市空間を創出する			重点プロジェクト	-		
施策	良好な都市空間の形成			主な取り組み	-		
主な取り組み	公園緑地の整備		市長公約	-			
取り組みの柱	都市公園の適切な維持管理			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	都市公園法,松山市都市公園条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	空港周辺の環境整備として、国土交通省の移転跡地を一時使用することで公園を開設し、空港周辺住民の安らぎ空間を提供するとともに、コミュニティの場として有効活用する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	一般財団法人空港環境整備協会が、空港の内滑り運用を確保する観点から、空港周辺住民、地方公共団体等の理解を得るため、平成7年から助成を開始したことに伴い、事業を開始した。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	国土交通省が設置・管理している空港で、航空騒音障害地域として設定されている区域における騒音等軽減のための公園等の整備事業 1. 交付申請を前年度に一般財団法人 空港振興・環境整備支援機構に、空港港湾課を経由して空港周辺環境整備事業助成の要望書を提出。 2. 交付決定の承認が得られたかどうかは年度末に通知。 3. 事業実施は計画書に基づき、区域内の公園の老朽化した遊具や施設の改修を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成	25	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	公園緑地費	目	公園管理費	R2予算措置時期	
									当初	
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A) (単位:千円)				5,000		5,000		5,000		
決算額(B) (単位:千円)				4,790		4,630				
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			3,831		3,703		4,000		
一般財源			959		927		1,000			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						工事請負費:4,630		工事請負費:5,000		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		210		370		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	空港周辺に既存する公園の良好な環境整備 南吉田緑地の遊具更新(複合遊具)					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	例年、国土交通省への要望どおりに改修等が実施できているため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	良好な都市空間の確保に寄与している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	既存公園の良好な環境整備	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	南吉田第2公園:公園施設工事	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	